

Japanese Association of Gestalt Therapy

日本ゲシュタルト療法学会

日本ゲシュタルト療法学会

第1回大会

● 協 賛 ●

日本交流分析学会

NPO法人 日本交流分析協会

社団法人 日本産業カウンセラー協会

会期 2010.7.17(土)、18(日)、19(月)

会場 横浜市開港記念会館

大会あいさつ

日本ゲシュタルト療法学会（JAGT）はゲシュタルト療法の普及・発展を通じて、人々が生き活きと生きる、豊かな社会づくりを目指して活動していきます。

記念すべき第1回大会は、海外で活躍する3人のゲシュタルト・セラピストの協力を得てワークショップを持つことができました。

プログラムはその他に「分科会（ゲシュタルト）」「分科会（関連分野）」「登録団体ワークショップ」「部会」「スーパービジョン」と多彩な内容になっています。

「分科会（ゲシュタルト）」は、現在、活躍しているファシリテーターによるワークショップです。

「分科会（関連分野）」は、ゲシュタルト療法を応用した新しいアプローチやゲシュタルト療法と同じように「からだ」を大切にしている心理療法を取り上げました。

「登録団体ワークショップ」は全国各地にあるグループ、研究会などで活躍している人たちのワークショップです。互いの交流の場としても役立つことでしょう。

さらに、ゲシュタルト療法がさまざまな分野で広がることを期待して「ビジネス産業部会」、「教育部会」、「心理臨床部会」を設け、事例発表等を企画しました。

この大会を機に、みなさんがゲシュタルト療法に触れる機会、また研鑽の場として、一緒に大会を創っていただければと願っています。

第1回大会委員長

日本ゲシュタルト療法学会理事長

百武正嗣

JAGT 日本ゲシュタルト療法学会『部会』について

この度、ゲシュタルト療法学会第1回大会がこのような形で開催できましたことは、私どもゲシュタルト・セラピーに携わる者として本当に喜ばしいことです。皆さまのおかげと心より感謝しております。

この学会を将来に向けて発展させ、ゲシュタルト・セラピーを普及させていくためには、会員の皆さまの積極的で主体的な参画および活動が必要だと思えます。そのためにも、会員個々が活躍する分野、あるいは関心をお持ちの分野ごとに『部会』をつくり、その中で活発に情報交換や活動をして頂くことが望ましいと考えています。

今大会にも、「ビジネス産業部会」、「教育部会」、「心理臨床部会」の発表がプログラムに盛り込まれております。メンバーの皆さまが今大会に向けて積極的な活動に取り組んでこられたことは、嬉しい限りです。(メンバーの皆さま、ありがとうございます!) この他にも、会員の皆さまからのご提案により多彩な部会活動ができたかと望んでおります。

会員の皆さまには、ご自分が活躍している専門分野の部会をぜひ発足させ、あるいは参加して頂きたいと思えます。また「専門分野」といった堅苦しいくくりではなく、単純に「関心がある」「興味がある」という気持ちでのご参加も大歓迎です。また、一つの部会だけでなく、複数部会へのご参加もご自由です。提案方法、参加方法などにつきましては、近日中にメールなどでお知らせするつもりでおります。

この学会は、会員相互の自主的・主体的な働きかけや活動によって運営される形で発展していく事が望ましいと思っております。つきましては部会以外のことに関しましても、皆さまの忌憚のないご提案やお考えを、ぜひお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

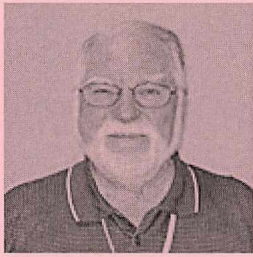
日本ゲシュタルト療法学会

副理事長・部会担当 岡田法悦

プログラム

会場		定員	午前	午後	夜間
7月17日(土)			10:30~13:00	14:30~17:00	
1階	講堂		9:30~10:30/開会式・総会		
	1号室	50	アンセル・ウォルト 1日ワークショップ		
	3号室	16	登録団体ワークショップ2 「ヒヤリハット対策とゲシュタルト療法」堤 俊也 (新潟グループ)	登録団体ワークショップ4 「日常に現れるシンボル」 山口 宏二、久田 数枝 (福山グループ)	
	4号室	20	登録団体ワークショップ1 「ゲシュタルト効果の学術実証&体験」檀野 竹美、丸山 孝子	登録団体ワークショップ3 「ゲシュタルト療法&フォーカシング」 山本 誠司 (GAFnet/鹿児島・宮崎)	
2階	6号室	40	シンシア・レイノルズ 1日ワークショップ		
	7号室	30	分科会(ゲシュタルト1) 田中 幸治 ワークショップ 「ゲシュタルト・カウンセリング」	分科会(ゲシュタルト2) 渡辺 トヨ子 ワークショップ 「あるがまま」	
	9号室	40	ゴードン・ウィラー 1日ワークショップ		
7月18日(日)			9:30~12:30	14:00~17:00	18:00~20:00
1階	講堂		パネル・ディスカッション 「ゲシュタルト療法とは何か、ゲシュタルト・セラピストとは何をする人か」	ビジネス産業部会(事例発表) 守谷 京子、岡崎 真	
	1号室	50	分科会(関連分野2) ロール・レタリング 岡本 茂樹	アンセル・ウォルト ワークショップ	分科会(ゲシュタルト4) 定行俊彰 ワークショップ 「からだの声に耳を澄ませる」
	4号室	20	登録団体ワークショップ5 「問題な〜し、存在あり〜」中西 徹、中園 裕子(福岡グループ)	分科会(関連分野3) ゲシュタルトとトランスパーソナル 馬屋原 眞美子	分科会(関連分野4) NLPとゲシュタルト 池田 佳子
2階	6号室	40	分科会(ゲシュタルト3) 平松 みどりワークショップ「自分の内部でのコミュニケーション」	シンシア・レイノルズ ワークショップ	スーパービジョン(ファシリテーター体験) スーパーバイザー: 前田茂則、 渡辺トヨ子、田中幸治
	7号室	40	分科会(関連分野1) フォーカシング 池見 陽 1日ワークショップ		登録団体ワークショップ7 「今、ここ」 平田綾子 (みどり会/大阪)
	9号室	40	登録団体ワークショップ6 「グループワークに活かす気づきの エクササイズ」 有村 凜 (GAFnet/鹿児島・宮崎)	ゴードン・ウィラー ワークショップ	登録団体ワークショップ8 ゲシュタルト療法応用編「クラウン とビジネス」 守谷 京子 (パーソナルグロース研究所)
7月19日(月)			9:30~12:00	13:30~16:00	16:00~16:30
1階	講堂			心理臨床部会(事例発表)	閉会式
	1号室	50	10:00~16:00/アンセル・ウォルト 1日ワークショップ		岡本 茂樹、有村 凜、 穴澤 美穂、梅田福一郎、 堤 俊也 河村 葉子
	3号室	16	登録団体ワークショップ9 「夢におけるゲシュタルト・セラピー」 鈴木建二、渋谷祥代		
	4号室	20	分科会(関連分野5) 再決断療法 倉成 央	分科会(ゲシュタルト7) 前田 茂則 ワークショップ 「気づきのワークショップ」	
6号室	40	10:00~12:30/ シンシア・ レイノルズ ワークショップ	13:30~16:00/ シンシア・ レイノルズ ワークショップ		
2階	7号室	40	分科会(ゲシュタルト6) 岡田 法悦 ワークショップ 「ファシリテーター体験をしてみよう」	教育部会(事例発表) 定行俊彰、有村 凜、中西 徹	
	8号室	12	分科会(ゲシュタルト5) 倉木 成伊知 ワークショップ 「体験の中で自分に気づく」		
	9号室	40	10:00~16:00/ゴードン・ウィラー 1日ワークショップ		

海外招聘講師ワークショップ



アンセル・ウォルト *Ansel Woldt Ed.D*

教育学博士で、現在、米国ケント州立大学名誉教授。同大学大学院で40年間カウンセリングを教え、ゲシュタルト・セラピストを育成し続けていると同時に、オハイオ州ケントで相談室を開業している。

数多くの大学院生の指導をするかたわら、同大学院のスクールカウンセリングプログラム部長、カウンセリング心理学プログラム臨床部長を務めている。教育者としては、今まで101人の博士論文指導をし、その内47人が論文にゲシュタルトの様々な側面の研究を取り上げている。また、1970年～1973年には、クリーブランド・ゲシュタルト研究所で博士課程終了後トレーニングを担当。

彼は「ゲシュタルト・セラピー／歴史・理論・実践」(2005)の著書・共編者であり、この本は世界中のゲシュタルト研究所のトレーニングプログラムの主要教材になっている。

彼は、AAGT(ゲシュタルト向上学会ー国際コミュニティー)の設立幹事、法人化理事を、そして現在も理事を務めている。

また、ケント州立大学図書館に「ゲシュタルト・セラピー書籍・文献コレクション文庫」を設立、世界中のゲシュタルト関連の書籍・文献コレクターとして有名である。

教授としてのキャリアにかかわらず、本来、彼は臨床家であり実践家である。



昨年の「全国ゲシュタルト大会」では穏やかな人柄そのままに、参加者を包み込むような存在感で、安心してワークができたとワーカーからも好評でした。

【JAGT 日本ゲシュタルト療法学会国際顧問】

■ 7/17(土)10:30~17:00 1号室 ワークショップ
通訳：岡田法悦

「ゲシュタルト療法におけるプレゼンス(存在感)の力」

「今・ここ」は、セラピーにおける「存在」と「変容プロセス」の実存的核心をあらわにします。このワークショップでは、「今にとどまる」「実際に起きていることだけに関わる」「現実を感じる」ことで「今・ここ」のプロセスに関わり、クライアントの「図」の出現をサポートする方法をお見せしようと思います。今の瞬間の、セラピストークライアント間の直接の交流に焦点をあて、そこで気づきを使うことがゲシュタルト・セラピストとしてとても重要です。

また、グループメンバーの行動、例えばあくび、ソワソワした動き、姿勢、服装、化粧など、今の瞬間に出現していることに注意を向け、それをセラピーに使うことを学ぶことも大切です。

- 7/18(日)14:00~17:00 1号室 ワークショップ
通訳：早川菜々

「ゲシュタルト療法におけるプロセスの力」

ゲシュタルティストであるには、カウンセリングや心理療法において「プロセス」にどう関わるかを理解し、知ることが不可欠です。なぜなら「プロセスの力」は、ゲシュタルト・アプローチと他のセラピーを区別する最も大きな要素だからです。

私は、コンテンツ（抱える問題についてのクライアントが語る事柄やストーリー）と、プロセス（心理的、感情的、やり取り上の、あるいはトランスパーソナルな流れや働き）の両方に働きかける、「何を」と「どのように」に焦点を当てる方法をお見せしようと思います。ゲシュタルトのセラピー過程の中心にあるものは、逆説的な介入法を駆使する能力です。なぜなら、それはクライアントの「地」のプロセスに本質的に歩調を合わせるものだからです。

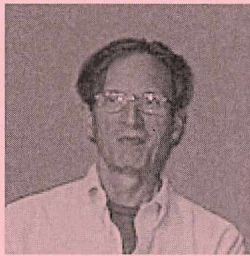
- 7/19(月)10:00~16:00 1号室 ワークショップ
通訳：早川菜々

「ゲシュタルト療法におけるダイアログ（対話）の力」

現代ゲシュタルト・セラピーでは対話が主流です。臨床的対話法では、セラピー関係の中に見えてくるデータを感じとることが求められます。これは、ゲシュタルトの「明白の哲学」「関係における自我」という基本に沿っており、クライアントと共にいる私たちの接触境界上で起き、進展するものです。

また、これは「治療」の「我ーそれ」関係を超え、セラピストとクライアントの間の純粋な「我ー汝」の関係と私たちが捉えているものです。「我ー汝」から学ぶ大切な事の一つは、我と汝の間にある「ー（ハイフン）」の部分に癒しがあるのだということです。

海外招聘講師ワークショップ



ゴードン・ウィラー Gordon Wheeler Ph.D

米国カリフォルニア・ビッグサーのエサレン研究所所長。研究所では、毎年600以上のゲシュタルト・モデルをベースにした宿泊コースを提供している。12冊以上の本、100以上の論文の著者であり、世界中でゲシュタルト・モデルを教えている。

12カ国語以上に翻訳されている著書の中で、彼は自我理論、変容理論、発達モデル、ゲシュタルト理論モデルの成り立ち、関係性の中の自我、あいは親密性、カップル、恥、性、異文化ワーク等々を論じている。

彼は妻のナンシーと共に、家族あるいは組織の問題にフォーカスしたバート・ヘリンガーのシステム論をゲシュタルトワークと統合した、ゲシュタルト・リレーショナル・コンステレーション・ワークを教えている。



昨年の「全国ゲシュタルト大会」では、彼の関係性を重視したファシリテーションが注目されました。

【JAGT 日本ゲシュタルト療法学会国際顧問】

-
- 7/17(土)10:30~17:00 9号室 ワークショップ
「体験ワークショップ」 通訳：青木由美子
 - 7/18(日)14:00~17:00 9号室 ワークショップ
「体験ワークショップ」 通訳：穴澤美穂
 - 7/19(月)10:00~16:00 9号室 ワークショップ
「体験ワークショップ」 通訳：盾江里奈

それぞれの「体験ワークショップ」では、ワークをする人が持ち寄る問題や題材を取りあげ、現在の関係的アプローチにより、成長に役立たなくなった古く硬直したゲシュタルトを構築し直し「新しい動き」をクライアント自身が探るワークに寄りそいます。この新しい動きは、新しいサポートを得て、クライアントが新たな第一歩を踏み出し、新しい創造的成長と生涯の発達に役立つキャパシティーを切り切り拓くでしょう。

海外招聘講師ワークショップ



シンシア・レイノルズ *Cynthia Reynolds Ph.D*

子どもたちおよび家族のカウンセラーとして 30 年の経験をもつ博士は、認定心理学者であり、臨床カウンセラーのスーパーバイザー、スクールカウンセラー、認定プレイセラピストのスーパーバイザーとして活躍している。また米国アクロン大学教授として児童カウンセリング、プレイセラピー、スクールカウンセリングを教えている。

ゲシュタルト療法に関しては、アンセル・ウォルト教授の指導のもとに「離婚家族の子どもたちへのゲシュタルト療法の適用」を博士論文として著し、学位を取得した。



JAGT では第 1 会大会に、ぜひ女性のゲシュタルト・セラピストを呼びたいと企画し、アンセル・ウォルト教育学博士の推薦によって初来日を実現しました。

ゲシュタルト・セラピーは、子どもの発達における、気づき、成長および変化の促進に大変適した方法です。

- 7/17(土) 10:30~17:00 6号室 ワークショップ
「描画による子どもとの関わり」 通訳：穴澤美穂
- 7/18(日) 14:00~17:00 6号室 ワークショップ
「指人形を使った子どもとの関わり」 通訳：高野香江
- 7/19(月) 10:00~12:30 6号室 ワークショップ
「粘土を使った子どもとの関わり」 通訳：青木由実子
- 7/19(月) 13:30~16:00 6号室 ワークショップ
「砂を使った子どもとの関わり」 通訳：青木由実子

7月17日(土)

10:30~17:00

- 1号室 アンセル・ウォルト1日ワークショップ・・・6
- 6号室 シンシア・レイノルズ1日ワークショップ・・・9
- 9号室 ゴードン・ウィラー1日ワークショップ・・・8

10:30~12:30

- 7号室 分科会(ゲシュタルト1) - 田中幸治・・・12
- 4号室 登録団体ワークショップ1-GA・・・12
- 3号室 登録団体ワークショップ2-新潟・・・13

14:30~17:00

- 7号室 分科会(ゲシュタルト2) - 渡辺トヨ子・・・13
- 4号室 登録団体ワークショップ3-鹿児島・宮崎・・・14
- 3号室 登録団体ワークショップ4-福山・・・14

「ゲシュタルト・カウンセリング ～原点からのゲシュタルト～」

田中 幸治

ゲシュタルト・セラピーについての概論を共有し、エクササイズを通して日常の自分の在り方と、可能性を秘めた本来的な自分の在り方に、気づく体験をゆっくりと味わっていきます。そして、自分に触れて、自分を広げることを希望する方には、個人ワークを一緒に体験していきましょう。

／／ たなか こうじ ／／

GNJ (NPOゲシュタルトネットワークジャパン) 講師。

日本カウンセラー学会認定カウンセラー、電話相談カウンセラー。1987年にポーラ・バトム博士のゲシュタルトワークを体験して以来、1992年に同博士のもとで第1回トレーニングコースを修了する。

1994年にゲシュタルトワークのファシリテートを初体験し、現在に至る。

日本ゲシュタルト療法学会副理事長。

「ゲシュタルト効果の学術的実証&体験」

檀野 竹美・丸山 孝子

ゲシュタルトアソシエイツのメンバーが、ゲシュタルト療法グループワークショップでのワーク体験前と後の気分・感情を調査票記入という形で調査し、比較して、その効果を学術的に実証しました。

また、ワークをした当事者以外のグループワーク参加者にもワークショップ開始前と終了後に同様の調査をし、自らがワークを体験していなくても、その場に参加していることで、ゲシュタルト療法の効果を確認することができました。

この研究結果を報告するとともに、実際にグループワークを体験していただきます。

／／ だんの たけみ ／／

早稲田大学第一文学部心理学科卒業後、民間企業に就職。会社業務の傍ら、カウンセリングにかかわる。産業カウンセラー

日本産業カウンセリング協会キャリアコンサルタント育成トレーナー

国家資格2級キャリアコンサルタント技能士

2001年ゲシュタルトアソシエイツ設立 現在代表

日本ゲシュタルト療法学会常任理事

／／ まるやま たかこ ／／

信州大学 医療技術短期大学部 衛生技術学科卒業後、臨床検査業務に携わる。

2010年 明治大学文学部 心理社会学科卒業。卒業論文で、「グループワークショップによるゲシュタルト・セラピーの効果」の検証に取り組み、日本で始めて学術的にゲシュタルト療法の効果を実証。

産業カウンセラー

キャリアコンサルタント

ゲシュタルトアソシエイツ所属

「ヒヤリハット対策とゲシュタルト療法」

堤 俊也

認知心理学的アプローチでは、ヒューマンエラーをスリップ（うっかりミス）とミステイク（錯覚・勘違い）に分類します。スリップやミステイクが発生する瞬間、心の中では何が起きているのか？

認知のワーキングメモリ・モデルからの解説と、ヘルスカウンセリング技法とゲシュタルト療法によるヒヤリハット対策をご紹介します。

／／ つつみ としや ／／

昭和 60 年、明治薬科大学薬学部薬剤学科卒業。1992 年からヘルスカウンセリング、1994 年からゲシュタルト療法を学び始める。1996 年からヒヤリハット発生時の心理的背景について調査を始める。2008 年から調査データを基にしたヒヤリハット対策ワークショップを開催している。

日本ゲシュタルト療法学会理事。

「 あるがまま 」

渡辺 トヨ子

恐怖、不安、悲しみ、怒り、快、不快、あるいは筋肉の緊張、痛み、あるいは後悔など様々な状況があなたには起きているかもしれません。

ゲシュタルトでは、今、その瞬間あなたにとって必要だからその状況が存在するのだと捉えます。良いとか悪いとかではありません。取り除こうとしないで、そのまま、あるがままこの“場”にいらしてください。あるがままに向き合うことで、あなたに気づきが生まれ、やがてあなたらしい自分に出会えることでしょう。

／／ わたなべ とよこ ／／

GNJ（NPOゲシュタルトネットワークジャパン）講師。

看護師として最高裁判所に勤務。その傍らゲシュタルト療法、催眠療法、認知行動療法、自律訓練法、交流分析、S I法による箱庭療法、心療内科、NLP、ドメステックバイオレンス等を学ぶ。東京心理相談センター心理カウンセラー上級養成コース卒（1990年より現在まで個人面談）、産業カウンセラー資格取得、企業の電話相談（2001～2007年）。ゲシュタルト療法は1986年よりポーラ・バトムに学ぶ。2001年よりファシリテーターとして活動中。

日本ゲシュタルト療法学会理事。

「ゲシュタルト療法&フォーカシングワークショップ」

山本 誠司

ゲシュタルト療法とフォーカシングは違う理論から生まれています。しかし、二つを体験すればするほど似た側面が見えてきます。そして、ゲシュタルト療法とフォーカシングを融合することで、より繊細なゲシュタルト・アプローチが可能となります。

今回のワークショップで、今、この瞬間に織りなす“生”を体験してみませんか・・・

／／ やまもと せいじ ／／

2004年、2005年に百武正嗣氏をはじめとするGNJ講師のもと、2年間のトレーニングコースを修了。GAFnet (Gestalt Art Focusing net) で鹿児島を拠点とし、ゲシュタルト療法とフォーカシングの普及活動を実践。THE FOCUSING INSTITUTE 認定フォーカシングトレーナーでもあり、ゲシュタルト療法とフォーカシングを融合したワークを展開する。また、金融機関の管理職として、企業におけるゲシュタルト療法とフォーカシングの活用を研究・実践している。

「日常に現れるシンボル」

山口 宏二・久田 数枝

“気になる夢” “気になる風景” “気になるもの”など、私たちは日常生活でさまざまなメッセージを受け取っています。福山グループでは、日常から浮かび上がるシンボリックなメッセージに焦点をあて、瞑想するイメージワークを展開したいと思います。

／／ やまぐち こうじ ／／

上智大学神学部卒 社会福祉、学校、宗教各法人、公共施設にて老若男女、生から死まで、さまざまな相談に乗る。身体を使ったカウンセリング法を模索中に、ゲシュタルト療法と出会う。現在、個人相談におけるゲシュタルト療法、福山市内にてゲシュタルトワークショップを実施。

／／ ひさだ かずえ ／／

中央大学法学部卒 ふうやまキャリア研究室 主宰

「自分らしく働くこと」をテーマに、キャリアコンサルティング、研修企画・教育サービス業を2003年に起業。広島県内外で就職支援、ヒューマンスキルアップ、女性のエンパワーメントに注力し活動中、現在に至る。

7月18日(日)

9:30~17:00

7号室 分科会(関連分野1)-フォーカシング
池見 陽 1日ワークショップ・・・16

9:30~12:30

講 堂 パネルディスカッション・・・17
6号室 分科会(ゲシュタルト3)-平松みどり・・・18
1号室 分科会(関連分野2)-ロールレタリング・・・18
4号室 登録団体ワークショップ5-福岡・・・18
9号室 登録団体ワークショップ6-鹿児島・宮崎・・・19

14:00~17:00

1号室 アンセル・ウォルト ワークショップ・・・7
6号室 シンシア・レイノルズ ワークショップ・・・9
9号室 ゴードン・ウィラー ワークショップ・・・8
4号室 分科会(関連分野3)-トランスパーソナル・・・19
講 堂 ビジネス産業部会一事例発表・・・20

18:00~20:00

6号室 スーパービジョン・・・22
1号室 分科会(ゲシュタルト4)-定行 俊彰・・・21
4号室 分科会(関連分野4)-NLP・・・21
7号室 登録団体ワークショップ7-大阪・・・21
9号室 登録団体ワークショップ8-I.P.G.・・・22

「フォーカシング」 池見 陽

「フォーカシングとゲシュタルト・セラピーは似ていますが、繋がりはあるのでしょうか」とよく訊かれます。心理療法としての相互影響はないと思います。もっとも、同じ時代に、同じ文化で展開されてきたものだし、両方を学んだ人たちもいるのだから、まったく影響がないとは言えないでしょうが・・・また、フォーカシングの考案者ユージン・ジェンドリン博士は哲学者ですから、ゲシュタルト心理学や現象学哲学まで遡ると、そこには何らかの繋がりが見えてくるのかもしれませんが。少なくとも、両者は「遠い親戚」と言ってもいいでしょう。

当日はフォーカシングの実践や理論を提示して、「遠い親戚」である皆様と共通点や相違点について語り合いたい。フォーカシングは体験（意識）の性質を基盤においています。どんなときにも、「感じられた意味」が作用していて、人は感じられた意味から思考したり、発話したりすることができます。感じられた意味から話すと、どのような作用が起こるのか。これがフォーカシングであり、ジェンドリン哲学が言い表しているところである。こういった知的論議を先行させるよりも、当日はまず、実践を通して語り合いたいと思います。



// いけみ あきら //

ボストン大学卒業、シカゴ大学大学院修了、医学博士（産業医科大学）。フォーカシングの考案者、ユージン・ジェンドリン教授に学び、以降フォーカシングやその臨床、理論展開などに取り組む。北九州医療センター臨床心理士、産業医科大学講師、岡山大学教育学部準教授、神戸女学院大学教授を経て関西大学臨床心理専門職大学院教授。著書：「僕のフォーカシング＝カウンセリング：ひとときの生を言い表す」（創元社）、「心のメッセージを聴く」（講談社現代新書）など多数。

「ゲシュタルト・セラピーとは何か。ゲシュタルト・セラピストとは何をする人か」

パネリスト

アンセル・ウォルト Ed. D
ゴードン・ウィラー Ph. D
シンシア・レイノルズ Ph. D
岡田 法悦

通訳：盾 江里奈
早川 菜々

このディスカッションの意味

今回は、日本ゲシュタルト療法学会として第1回目の記念すべき大会です。そこにアンセル・ウォルト、ゴードン・ウィラーという、ゲシュタルトの世界では世界的に大きな影響力を持つ方々と、ゲシュタルトによるチャイルド・セラピーがご専門のシンシア・レイノルズを招聘したこの機会に、ゲシュタルト・セラピーそのものが一体何なのかを改めて問い、考え、このディスカッションでその輪郭を明確にしたいと思います。

「ゲシュタルト・セラピーとは何か」を問う時、3つの切り口が考えられます。それは、歴史的視点、文化的視点、臨床的視点です。私たち日本のゲシュタルティストは、世界のゲシュタルト療法の歴史の中でどのような位置に立っているのか、西洋文化と東洋／日本の文化におけるゲシュタルト療法・ほどのような共通基盤を持ち、どのような違いを持つのか、目の前のクライアントや家庭、教育現場、企業組織などと向き合う時、他の療法と何がどのように違うのか、という視点です。

そしてその基盤の上で、セラピーに限らずゲシュタルティストが活躍する「場」で、私たちは何をする人なのか、何をしない人たちなのかを明確にしたいと、私は願っています。

ゲシュタルト・セラピーを語るキーワード、「今・ここ」「気づき」「我-汝」「場の理論」「実存的・実験的・体験的セラピー」「変容の逆説的な理論」「現象学」「接触境界」「コンタクト」などが実際には何を意味しているのか、あるいは現代の欧米のゲシュタルトの世界はどのような潮流をつくっているのか、などについて知り、私たち日本のゲシュタルティストが、そして日本ゲシュタルト療法学会が、これから何を目指していくのかを考えたいと思っています。

(岡田 法悦)

9:30~12:30 6号室 分科会(ゲシュタルト3) 平松みどりワークショップ

「自分の内部でのコミュニケーション」

平松 みどり

ものとの一体 ~同一視~ をテーマにワークショップを行ないます。

// ひらまつ みどり //

故ポーラ・バトム女史を師と仰ぎ、1990年代より大阪みどり会を開設し、ゲシュタルト療法の理論、ワークショップを継続しています。周辺理論も合わせて学びを実践しています。NPO 交流分析協会准教授として再決断にゲシュタルトを取り入れています。

日本ゲシュタルト療法学会理事。

9:30~12:30 1号室 分科会(関連分野2) ワorkshop

「ロールレタリング」

岡本 茂樹

ロールレタリングとは、エンプティチュア・テクニクを「手紙を書く」という方法に応用したものです。少年院の矯正教育の現場から生まれたこの技法は、「自分から相手へ」の手紙を書いたり、ときには相手の立場に立って「相手から自分へ」の手紙を書いたりするなかで、自己洞察や他者理解を深めていく心理技法です。誰にも知られることなく安心して内面の自分と対話できます。

// おかもと しげき //

立命館大学産業社会学部教授 武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科博士課程修了 臨床教育学博士 学校現場で教員を務めた後、教育センターのカウンセラーとして、不登校、非行や摂食障害など多くの臨床経験を積む。非行・犯罪の心理とロールレタリングが専門。現在は成人が収容されている2つの刑務所で篤志面接委員を兼務している。日本ロールレタリング学会理事、日本交流分析学会評議員、その他心理臨床関係の学会の正会員。日本ゲシュタルト療法学会臨床顧問。

9:30~12:30 4号室 登録団体ワークショップ5 福岡グループ

「問題な~し、存在あり~」

中西 徹、中菌 裕子

モンダイナンテモンデモナイ？

// なかにし とある //

早大理工中退、バックパッカーでアジア放浪後、織物を輸入卸、うまくいかず。学習塾に勤務後、独立。約10年後、売却。現在、家庭人。若い頃、全く興味のなかったギャンブルに、最近ハマってます。ゲシュタルト歴は5年ほど。ワークで面白いと感じるのは、ゲシュの舞台性、人(自分を含めた)の妄想。さまざまな視点への移動で意外性(気づき)を体感するのが好き。エンプティチュアという単純な仕組みにパワーを感じる！

日本ゲシュタルト療法学会理事。

// なかぞの ひろこ //

1960年兵庫県生まれ聖和大学にて幼児教育を専攻、幼稚園教諭、身体障害者施設の保母を経て、現在敬愛カウンセラー学院の講師兼カウンセラーを務める。

「グループワークに生かす気づきのエクササイズ」

有村 凛

鹿児島を中心に活動している GAFnet(ゲシュタルト アート フォーカシングネット)のメンバーでゲシュタルト療法をベースにしたエクササイズを1冊の本にまとめました。

ゲシュタルトのワークショップだけではなくいろいろな研修などに活用できるエクササイズをご紹介します。

// ありむら りん //

GNJ講師のもと、2年間のトレーニングコースを修了。THE FOCUSING INSTITUTE 認定フォーカシングトレーナー。ゲシュタルト療法とフォーカシングを融合したアプローチを大切にワークを展開する。GAFnet(ゲシュタルト アート フォーカシングネット)を鹿児島の仲間と立ち上げ、ゲシュタルト療法とフォーカシングの普及活動を実践。ほかに、ゲシュタルト療法とフォーカシングをベースにしたカウンセリングや講演を、心療内科、幼稚園・小学校、医療従事者等へ定期的に行っている。日本ゲシュタルト療法学会理事。

「ゲシュタルトとトランスパーソナル」

馬屋原 眞美子

抑圧や依存、混乱と自己否定感のプレパーソナルな段階からゲシュタルト療法によるパーソナルの確立を目指した末に、更にそれを含んで超えるトランスパーソナル。個を超えた繋がり「スピリチュアル」を思考するトランスパーソナル心理学とは、いかなる視座に立つものか。今一度自らの人生をトランスパーソナルな視点から体験、再発見してみませんか。今までとは何か違う新たな気づきがきっとあるはず。それは、あなたの「SOUL(魂)」に出逢える一歩かも知れません。

// うまやはら まみこ //

広島県福山市在住。「人生は魂のアート・人は誰もが自分の人生のアーティスト」を理念として「命」「生きる」「自己表現」への支援を、芸術、教育、産業、心理学等、多岐な分野で展開。ゲシュタルト療法啓発活動のため、ワークショップ及びファシリテーター養成のトレーニングコースを継続的に実施中。
(株)東中国カウンセリングセンター 代表取締役 カウンセラー
JTA 日本トランスパーソナル学会理事 中国支部支部長
GALLERY スペース甦る(Soul) オーナー
日本ゲシュタルト療法学会副理事長

事例発表1：

◇テーマ：「あなたの企業は健康ですか？」
組織と個人の潜在能力を伸ばすゲシュタルト・セラピー

- ◇概要：
- ・欧州企業でのゲシュタルト・セラピー活用事例(パリメトロなど)
 - ・日本の上場企業幹部研修(人間力強化)での成功事例
 - ・企業を有機体として見る個人の活性事例を紹介
 - ・その場で診断、強くて部下を巻き込めるリーダーシップ診断

講師 守谷 京子氏 (パーソナルグロース研究所所長)

2002年より、企業変革のプロジェクト(ISL)に講師として参加、ソニー、トヨタ、博報堂など大手企業の幹部候補生から99.7%以上の支持を受けている。

ゲシュタルト・セラピーと「カフナ・サイエンス」を組み合わせて、登校拒否等様々な問題を抱えた学校をはじめ企業の組織開発・リーダー教育まで多くの実績を持つ。NHK、毎日新聞、朝日新聞、関西テレビ、テレビ朝日等マスコミにも数多く登場。

事例発表2：

◇テーマ「モチベーションの下がった組織が、3週間で結果を出す方法」

- ◇概要
- ・知識社会で、付加価値の高い仕事を生み出す「仮説」をどうたてるか？
 - ・マーケティング会議に、ゲシュタルト療法、全脳思考を活用した事例を紹介。
 - ・過去のコピペ思考 vs. 未来からのワクワク発想、その圧倒的な差とは。
 - ・なぜ、物語を作ることで、一段上の問題解決ができるのか。

講師 岡崎 真氏(株式会社コラボレット設立 代表取締役)

これまで4,000人の経営者・幹部を10年以上支援・育成し続けてきた「リーダー育成」のプロフェッショナル。2001年、株式会社コラボレット代表取締役。ゲシュタルト療法など心理技法を活用した「社長の右腕」育成や「組織活性化」研修を通じ、短期間に業績アップすると高い評価を得ている。一方、神田昌典氏認定「全脳思考マスター」として、付加価値を生む思考ツールの普及活動を展開。

18:00~20:00 1号室 分科会（ゲシュタルト4） 定行俊彰ワークショップ

「からだの声に耳を澄ます」

定行 俊彰

何を今感じているのか？

なかなか気づきにくいことです。さまざまなからだを動かすエクササイズを体験しながら、からだの声に耳を澄まし、今自分が感じていることに気づいていきます。

／／ さだゆき としあき ／／

宮城教育大学教育学専攻卒業。大学時代に故竹内敏晴氏より「からだの感覚と表現」について深く学ぶ。卒業後、小学校教員として勤務しながらゲシュタルト・セラピーを学ぶ。

「仙台からだところの会」を立ち上げ、ゲシュタルトのグループワークを数多く開催。NPO法人みやぎダンス理事長。日本ゲシュタルト療法学会理事。

18:00~20:00 4号室 分科会（関連分野4） ワークショップ

「NLPとゲシュタルト」

池田 佳子

『相手に任せれば、何かを得る。自分と向き合えば、何かが変わる』

“なりたい（ありたい）自分になる”、“人間関係の対立を自ら解決する”、その目標達成の支援に NLP のテクニックを用いることができます。モデル化された一つの方法にゲシュタルト療法があります。NLP テクニックの一つ『知覚の位置』を使って、気づきの体験をします。ポイントは、観察、気づき、選択、自己一致、柔軟性…。

／／ いけだ けいこ ／／

京都大学医学部附属病院などで10年の臨床看護師を経験、企業「健康相談室」で9年勤務する間、特に心のケアの大切さを感じ、心理系の学びを始める。その後、心とからだの健康を支援する『ヘルスサポート縁』を開設。個人カウンセリングを行う一方、ストレスケア・コミュニケーション技法など、各分野・各方面で指導・支援を行い、現在に至る。ゲシュタルト療法体験歴15年。サンタフェNLP歴6年、H20年トレーナー資格。日本ゲシュタルト療法学会理事。

18:00~20:00 7号室 登録団体ワークショップ7 大阪グループ

「今ココ」

平田 綾子

／／ ひらた あやこ ／／

大阪のみどり会にてゲシュタルトのメンバー。ゲシュタルト療法は日が浅いのですが、現在、トレーニングコースに参加しています。心理相談員として大阪市公的機関で活躍中です。

ゲシュタルト療法応用編「クラウニングとビジネス」

守谷 京子

ゲシュタルト療法の新しい方向としてクラウン（道化）という方法があります。ゲシュタルトに道化のもつ遊びの喜びとエネルギーを注入し発展させ、創造性のあふれるものにしたセラピーで、それを「クラウニング」と呼んでいます。

ゲシュタルト療法では、「今、ここ」が大切です。今＝体験＝気づき＝実在です。過去はもはや、現在ではないし、未来は未だ来ていません。変化のチャンスは、「今」にあります。

ビジネス上でおきている現在の問題について、クラウニングでの実際の体験は説明したり解釈したりする必要はありません。生き生きと、ビジネスのクラウンになり、「今」体験し、実験してゆきます。

「行き詰まり」を体験し、その中から生れてくる「今までとは違う可能性」を見いだします。

// もりや きょうこ //

上智大学卒。1986、I. S. H. P. を設立し登校拒否等、様々な問題を抱えた学生に、学習とカウンセリング、セラピーの同時並行を試み、成果を得る。84年リッキー・リビングストンに師事しゲシュタルト療法のトレーニングを始める。89年、セラピスト養成コース卒業後、I. P. G. を設立。慈恵医大産科、目黒区立中根小学校（PTA）、トランスパーソナル国際会議（米）、イーストアングリア大学（英）、志村警察署、日本人間性心理学会、日本トランスパーソナル心理学/精神医学会等にてセラピー提供。03年大企業向けのセラピーをI. S. Lにて現在まで提供。07年2月エサレン研究所（米）、8月ロッキー・ゲシュタルト研究所（米）にてゲスト講師としてセラピーを提供。

ファシリテーター体験

CFOによるファシリテーターとしての研鑽を支援します。Cとはクライアント（ワークをする人）、Fはファシリテーター、Oはオブザーバー（観察する人）の訳です。

ゲシュタルト療法は「ワークをする」側の気づきから「ファシリテーターを体験することでの気づき」も大切にしています。

三つのグループに分けてそれぞれに、スーパーバイザーがついてサポートします。楽しく安全にファシリテーターの体験にトライできます。

スーパーバイザーはNPO法人ゲシュタルトネットワークジャパン（GNJ）のファシリテーター前田茂則、田中幸治、渡辺トヨ子です。

7月19日(月)

10:00~16:00

- 1号室 アンセル・ウォルト1日ワークショップ・・・7
- 9号室 ゴードン・ウィラー1日ワークショップ・・・8

10:00~12:30

- 6号室 シンシア・レイノルズ ワークショップ・・・9

9:30~12:30

- 8号室 分科会(ゲシュタルト5) - 倉木成伊知・・・24
- 7号室 分科会(ゲシュタルト6) - 岡田法悦・・・24
- 4号室 分科会(関連分野5) - 再決断療法・・・24
- 3号室 登録団体ワークショップ9 - 世田谷・・・25

13:30~16:00

- 6号室 シンシア・レイノルズ ワークショップ・・・9
- 4号室 分科会(ゲシュタルト5) - 前田茂則・・・25
- 講堂 心理臨床部会 - 事例発表・・・26
- 7号室 教育部会 - 事例発表・・・27

9:30~12:00 8号室 分科会(ゲシュタルト5) 倉木成伊知ワークショップ

「体験の中で自分に気づく」

倉木 成伊知

体験の中で、自分の感情に気づき、それを表現する…そのようなプロセスを通じて、自分にブレーキをかけているのは、実は自分自身の「心」であったと気づくとき、自分を縛っているさまざまな“とらわれ”からの解放が始まるのです。

// くらき せいいち //

東京大学工学部卒業。三井海洋開発(株)に勤務の後、自営業を営みながら、人間関係、コミュニケーション、臨床心理学、心理療法、カウンセリング、催眠療法を学ぶ。

日精研心理臨床学院修了。東京ゲシュタルト研究所(TGI)セラピスト養成コース修了。人間関係学会正会員。全米催眠療法協会公認セラピスト。東京サイコセラピーアカデミー(TPA)認定セラピスト。日本ゲシュタルト療法学会理事。

9:30~12:00 7号室 分科会(ゲシュタルト6) 岡田法悦ワークショップ

「ファシリテーター体験をしてみよう」

岡田 法悦

ゲシュタルトのファシリテーション練習法として私が考案した「背後霊方式」を交えながら、ファシリテーター体験をしてみましょう。ワークをファシリテートするコツは“頭のスイッチをoffにする”こと、そして“何かをしてあげよう”“結果を出そう”としないこと。ワークをする人の「今・ここ」に半歩下がってついていけば必ず何かが起き、そして終結が訪れます。そういうゲシュタルト・セラピーのダイナミズムを体験してみましょう。

// おかだ のりよし //

1986年に故ポーラ・バトム博士と出会ってからゲシュタルト療法の日本での普及に力を注いでいます。

- ・1989年4月、現GNJの前身、GNPRをポーラと共に設立
- ・2001年、GA(ゲシュタルト・アソシエイツ)を設立し顧問ファシリテーター
- ・(社)日本産業カウンセラー協会全国各地の支部でゲシュタルト療法を指導
- ・シー&スカイ・カウンセリング研究所ゲシュタルト・セラピスト養成特訓ファシリテーター
- ・企業研修ファシリテーター(警察庁、NTTグループ、富士電機グループなど)
- ・著書:「実践“受容的な”ゲシュタルト・セラピー」(ナカニシヤ出版)
- ・日本ゲシュタルト療法学会副理事長

9:30~12:00 4号室 分科会(関連分野5) ワークショップ

「再決断療法」

倉成 央

再決断療法は、ゲシュタルト療法と交流分析を取り入れた心理療法として、グールディング夫妻によって提唱されました。その人の今の問題の原因となっている過去のネガティブな決断をポジティブなものに変えるという、短時間のセラピーです。セッションの最初に契約を交わすこと、20分という短い時間でひとつのセッションを終えることなど、興味深い特徴があります

// くらなり ひろし //

(株)メンタルサポート研究所代表

臨床家として再決断療法を使ったカウンセリングを行っており、再決断療法のワークショップやトレーニングも主催している。活動エリアは東京と九州。

9:30~12:00 3号室 登録団体ワークショップ9 世田谷グループ

「夢におけるゲシュタルト・セラピー」

鈴木建二・渋谷祥代

～あなたの夢の登場人物やものは、全てあなた自身をあらわしている～

人は誰しも、生まれながらにして自己実現してゆける力を持っています。寝ている間に見ている夢にも、「今・ここ」に必要なあなた自身の答えが潜在されています。

あなたの夢の力を信じることは、あなた自身を信じることです。

夢の扉を開けて一緒に気づきを深めてゆきましょう。

// すずき けんじ //

心理療法家。昭和43年10月3日生まれ、41歳。2004年サラリーマン時代を経て、心理療法家として活動。ADHD、アズペツガー症候群、うつ、アダルトチルドレンといった様々な問題解決をはじめ、心理療法講座や起業セミナーなどを行なう。2008年、ベストセラー作家のひすいこうたろう氏と、初の著書「ココロの教科書」(大和書房)を出版。2010年、ゲシュタルト療法トレーニングコース修了。ゲシュタルト療法学会ビジネス・産業部会所属。

// しげや さちよ //

心理カウンセラー&セラピスト。沖永良部島育ち。大阪外国語大学フランス語学科卒業。日本心理カウンセラー養成学院の講師兼ファースト心理カウンセラー、スーパーバイザーとして勤務経験を積んだ後、2009年4月にHeartful Counseling Joyとして独立開業。「自分らしく、生きがいを感じながら生きてゆく」ための心理的支援を行なう。特にアダルトチルドレンの回復には力を入れている。

NPO日本カウンセリング普及協会正会員。米国催眠士協会正会員。日本ゲシュタルト療法学会会員。

13:30~16:00 4号室 分科会(ゲシュタルト7) 前田茂則ワークショップ

「気づきのワークショップ」

前田 茂則

「絶対的現在の気づき」をベースとして、現前に生じる事象に忠実に向き合い、全体と個の自在性や自発性を大切に、温かく、時にユーモラスかつ直裁簡明、単刀直入に迫る前田流のアプローチを体験してみてください。そして参加者の方々と率直なフィードバックや分かち合いができれば、ファシリテーター冥利に尽きる、と言えましょう。

ワークショップの場でお会いできることを大変楽しみにしています。

// まえだ しげのり //

NPO法人ゲシュタルトネットワークジャパン(GNJ)講師。早稲田大学文学部心理学科卒業。

霜田静志、篠崎忠男に師事。1980年と1985年にゲシュタルト療法研修のため渡米(サンフランシスコ・ゲシュタルト研究所)。千葉県中央児童相談所長、帝京平成短期大学教授を経て、現在、千葉ゲシュタルト研究所長。日本ゲシュタルト療法学会理事。

●事例発表 1

気づきへの関わり：精神科クリニックでのゲシュタルト療法の効果事例

（穴澤美穂・有村凜：GAFnet）

要旨：精神科クリニックのカウンセリングルームにおいて、感情や身体へどのように関わるのが有効なのかをゲシュタルト療法を用いた事例を通して検討します。慢性的なストレスの中で過度に頑張り、結果的に感情や身体の気づきを鈍くし、ストレス関連精神疾患を引き起こしたケース等を取り上げ、無理のない気づきへの関わりを考えます。

●事例発表 2

受刑者に対してエンプティチェア・テクニクにロールレタリングを導入した面接過程

（岡本茂樹：立命館大学産業社会学部）

要旨：2名の受刑者に対してエンプティチェア・テクニクとロールレタリングを併用した面接を行い、自己の内面の問題への気づきを促すとともに抑圧していた感情を発散させました。

●事例発表 3

成人の発達障害におけるゲシュタルト・アプローチによる関わり

（河村葉子：ハートフリースペース）

要旨：カウンセリングの現場において、うつ症状を持つクライアントの中に、発達障害またはその可能性を除外できないと思われるケースに出会います。今回は自閉症スペクトラムのクライアントの事例を通じ、その効果と限界について考察します。ADD（ADHD）についても時間があれば触れたいと思います。

●事例発表 4

いわゆる「現代型うつ病」と思える社員にゲシュタルト療法はどう関わっていくか

（梅田福一郎：ゲシュタルトアソシエイツ）

要旨：最近、20代、30代のうつ病の60%は、いわゆる「現代型うつ病」と言われています。企業相談室での困難な臨床事例を基に、ゲシュタルト療法でどう関わっていくかを皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

●事例発表 5

薬剤師及び看護師のエラーについて

（堤俊也：ヒーリング・サポート）

要旨：心理的背景を調査しました。背景には、不安・焦り、怒り、悲しみなどを伴った思いがあり、それがエラーを引き起こしていると考えられました。ストレスマネジメント、ゲシュタルト療法などを組み合わせたワークショップにより、エラーが減少しました。

テーマ：保育・幼稚園・学校現場で生きるゲシュタルト療法

子どもは感性を使いながら様々なものを身につけていきます。同時に、身につけたものを整理し知識として蓄積していくために知性を発達させていきます。子どもの成長にとって感性と知性両方の発達是非常に大切なものです。しかし、現在の子どもを取り巻く状況では、どうしても一般的に知性が重視されています。

ゲシュタルト療法は子どもの感性をはぐくんでいく大きなヒントを私たちに与えてくれます。この教育部会では、子ども、教員、保護者などへのゲシュタルト療法の適応事例発表、鼎談を交えながら教育との関連性、効果を明らかにしていきます。

事例発表1 教員として教育現場での適応事例

発表者：定行俊彰（公立学校教員）

① 両親への感情

小学2年生の道徳の時間に実施したものです。子どもが、親に対する相反する複雑な感情を表現することで、子ども自身の親、また、学級内での子ども同士の関係性がた事例を紹介します。

② こじれた友達関係

小学5年生の道徳の時間で実施したものです。二人の子ども同士の長く続いたいさかい、もめ事を解決していく中で、お互いの違いを明確にし、関係の折り合いをつけていった事例を紹介します。

事例発表2 スクールカウンセラーとして教員・保護者への適応事例

発表者：有村凜（スクールカウンセラー）

① ゲシュタルト視点の教育・子育て

保護者や教員を対象とした研修会の中で実施したものです。保護者も教員も「子どもが生きていくために」どのように教えあるいは子育てしていけばよいかを実践しているにも関わらず、時々見えない不安の渦に巻き込まれてしまうことがあります。これまで私がやってきた「気づき」を中心とした研修の中から実際に体験していただき教育に関わる時に必要なものとしての「ゲシュタルト」を一緒に考えたいと思います。

鼎談

テーマ：教育とゲシュタルト療法の接点

有村 凜、 定行俊彰、 中西 徹

**2010
JAGT**

タルトセラピストのトレーニングは、気づきや創造性を妨げるものに焦点を当てます。妨げるものを取り除き、自分の「自我」をクライアントと向き合うための道具として活用する道を拓くために、ゲシュタルトセラピストのための個人セラピーは不可欠と考えられています。

■ゲシュタルトセラピストは何をする人か

ゲシュタルトセラピーのワークの方法は気づきと体験 - セラピーの場に展開する今・ここで「明白に起きていること」に関わることです。ゲシュタルトセラピー業の仕事道具は、「何が」と「どのように」、それにセラピー関係に起きている相互関係プロセスに特別な注意を向けながらの気づき、五官、感情、コンタクト（接触）および実験です。純粋な出会い、全的存在として居ること（full presence）、セラピー体験のプロセスへの穏やかな尊重が、そのプロセスを促進します。気づきを通じた体験的な学習が、知的認識の量を最小にし、実体験を促します。これは、人の現在の状態についての「なぜ」ではなく、「何が」と「どのように」を見るということを意味します。セラピーのゴールは、クライアントとセラピストの間の気づきに満ち、自然にわき出る、そして真実（authentic）な対話によって達成されます。今・このセラピー関係の中でのコンタクト（接触）の障害を味わいながら、相違と類似への気づきを促進するのです。

シンシア・レイノルズ Cynthia Reynolds Ph. D.

ゲシュタルトセラピーは、気づきと成長と変容を促す、成長・発達に大変適切な、子どもたちとの関わりの方法です。

「ゲシュタルトセラピーとは何か・

ゲシュタルトセラピストとは何をする人か」

ゴードン・ウィーラー Gordon Wheeler Ph. D.

ゲシュタルトは、私たちがどのように自分の体験を構築し体系づけるかを学ぶためのものです。私たちが新しい物事に適応しチャレンジする時、創造的適応 (creative adaptation) を働かせます。それは、私たちの頭脳や人間関係あるいは行動の中で、パターン化された形で自動的に働くようになります。たとえそれらが幼児期に固く形成されたもので容易な変化や成長に抵抗する場合でも、ゲシュタルトの方法論はどのようにそれを分解するかを見せてくれます。ゲシュタルト・アプローチの中心概念はサポートです。人は常に今の自分の「場」を自己体系化していますが、それは現在と過去の間関係パターンによってサポートされています。ゲシュタルトセラピストは、そのサポートの「場」に変化を起こすことで、クライアントが新たな、創造的な一歩を踏み出す新しい可能性を拓くのです。この一歩は、クライアントにとって新しい力であると共に、創造的な成長のカーブを改めて描き始めることを示しています。

アンセル・ウォルト Ansel Woldt Ed. D.

■ゲシュタルトセラピーとは何か

ゲシュタルトセラピーは、他者との、あるいはコミュニティでの、そして環境全般との接触 (接触) を改善するというゴールをもった、プロセス的、関係的 (relational) 心理療法です。ゲシュタルトセラピーは、内省よりもクライアントの動的な気づきを強調した、活動的な援助の方法です。それは、クライアントの病気や病理よりも成長により焦点を当てている点で、核心的かつユニークです。私たちが焦点を当てるのは、現在進行中の、そしてライフサイクル全てを通しての成長・成熟における創造的調整 (creative adjustment) とその促進です。ゲシュタルトはドイツ語で「良い形 (good form)」あるいは「豊かな全体性 (plump wholeness)」という意味です。私たちが目指すところは、環境の中にいる生体機能 (organismic function) としての気づきを高めることです。ゲシュ

日本ゲシュタルト療法学会 第1回大会

期日 2010年7月17日(土)・18日(日)・19日(月祝)

会場 横浜市開港記念会館 (TEL 045-201-0708)

【主催】 7/17:ゲシュタルト・インスティテュート 7/18:浅井ヒーリング研究所 7/19:清水隆社会保険労務士事務所

「日本ゲシュタルト療法学会 (JAGT)」は2010年1月24日に設立されました。ゲシュタルト療法の普及・発展を通じて、人々が生き生きと生きる、豊かな社会づくりを目指して活動していきます。

記念すべき第1回大会は、海外で活躍するゲシュタルティストたちのワークショップをはじめ、全国各地で活動するファシリテーターによるワークショップ、ゲシュタルト療法と関係の深い分野のワークショップ、部会における事例発表等を企画しました。ゲシュタルト療法に触れる機会、また研鑽の場として、みなさんと一緒に大会を創っていきたくと願っています。

【日程】 7月17日(土) 9:30~17:00 懇親会 18:00~20:30 (詳細裏面・参加費 5,000円)
7月18日(日) 9:30~20:30
7月19日(月祝) 9:30~16:30

【招聘講師】



アンセル・ウォルト Ed.D

ケント州立大学名誉教授。ゲシュタルトに関する教育・制度にも関心が深く、指導的役割を果たしてきた。著書多数。



ゴードン・ウィラー Ph.D

長年クリーブランドでゲシュタルトを指導し、現在エサレン研究所長ゲシュタルト療法責任者。論文も多数発表。



シンシア・レイノルズ Ph.D

ゲシュタルト療法、プレイセラピー等を専門に、スクールカウンセラー、臨床カウンセラーとして長年活動している。

【参加資格】 ゲシュタルト療法を学んでいる方、カウンセリング、心理療法に関わっている方など、ゲシュタルト療法に関心のある方なら、どなたでも参加できます。

【参加費】 一般 41,000円 一般1日参加 25,000円(1日だけ参加の場合)
会員 35,000円 会員1日参加 19,000円(1日だけ参加の場合)

※ 大会参加申し込みと同時に学会に入会される方は、会員料金と学会年会費5,000円を併せた金額をお振込みください。
(同時入会参加 40,000円 同時入会1日参加 24,000円)

※ キャンセルは大会初日の2日前までをお願いします。それ以降のキャンセルは参加費を申し受けます。

【定員】 200名 ※先着順。締切り前でも定員になり次第、締切らせていただきます。

【締切】 7月9日(金)

【申込方法】 学会ホームページ(4/中旬公開予定)の「大会参加申込みフォーム」からお申し込み、または電話でお申し込みのうえ、参加費をお振込みください。参加費の入金をもって、申し込み確定とさせていただきます。電話で申し込みの方で、同時に学会への入会をご希望の方は「大会参加と同時に入会する」とお申し出ください。「入会申込書」をお送りします。記入してご返送ください。

URL <http://www.ja-gestalt.org/>

TEL 045-752-1759

JAGT 日本ゲシュタルト療法学会事務局

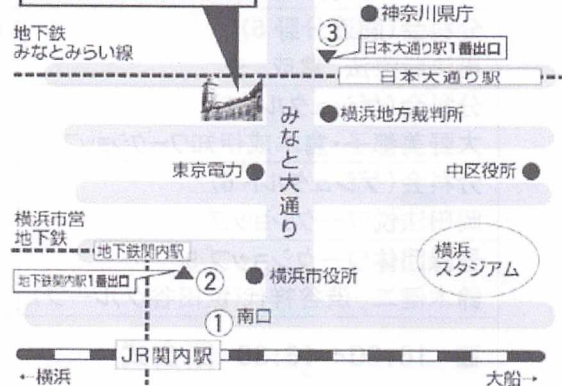
(平日 8:30~18:00/土曜 17:00 まで/日祝休)

【振込先】 三井住友銀行 横浜駅前支店 普通預金

口座番号 8863229

口座名義 日本ゲシュタルト療法学会

開港記念会館



①JR 京浜東北線 ②市営地下鉄線 関内駅下車徒歩 10分
③みなとみらい線 (東横線直通) 日本大通り駅下車徒歩 1分

■問い合わせ■

JAGT 日本ゲシュタルト療法学会事務局
TEL 045-752-1759/FAX 045-752-1859

第 1 回大会プログラム

*プログラム内容は変更になることがあります。変更事項等は学会 HP にて随時お知らせいたします。

*講師プロフィール・内容詳細は当日会場で配布するプログラムをご参照ください。

*海外招聘講師にはすべて通訳がつきます。

*各ワークショップには定員があります。

*「登録団体ワークショップ」は全国各地で活動しているファシリテーターによるワークショップです。() 内はファシリテーターの所属団体または地域を表示しています。

日	プログラム		
17日 (土)	■ 9:30~10:30 開会式・総会		■ 18:00~20:30 懇親会 別途参加費 5,000 円 会場:「重慶飯店 別館」 (横浜中華街) http://www.jukeihanten.com/tenpo/03bekkan.html <u>予約申込制 (最終締切 7/1)</u> ・大会参加申込みの際に出欠をお申し出ください。 ・参加費は当日会場でお支払いください。
	10:30~17:00 アンセル・ウォルト 1日ワークショップ		
	10:30~17:00 ゴードン・ウィラー 1日ワークショップ		
	10:30~17:00 シンシア・レイノルズ 1日ワークショップ		
	午前 10:30~13:00	午後 14:30~17:00	
	分科会(ゲシュタルト1) 田中幸治ワークショップ	分科会(ゲシュタルト2) 渡辺トヨ子ワークショップ	
	登録団体ワークショップ1 檀野竹美、梅田福一郎 (GAグループ)	登録団体ワークショップ3 山本誠司 (鹿児島・宮崎グループ)	
登録団体ワークショップ2 堤俊也、高森美紀子 (新潟グループ)	登録団体ワークショップ4 山口宏二、久田数枝 (福山グループ)		
18日 (日)	午前 9:30~12:30	午後 14:00~17:00	夜間 18:00~20:00
	パネルディスカッション アンセル・ウォルト/ゴードン・ウィラー /シンシア・レイノルズ/岡田法悦	アンセル・ウォルト ワークショップ ゴードン・ウィラー ワークショップ シンシア・レイノルズ ワークショップ	スーパービジョン(ファシリ体験) スーパーバイザー:前田茂則、渡 辺トヨ子、田中幸治
	10:30~17:00 分科会(関連分野1) 池見 陽 フォーカシング 1日ワークショップ		分科会(関連分野4) NLP 池田佳子
	分科会(関連分野2) ロールレタリング 岡本茂樹	分科会(関連分野3) トランスパーソナル 馬屋原眞美子	分科会(ゲシュタルト4) 定行俊彰ワークショップ
	分科会(ゲシュタルト3) 平松みどりワークショップ	登録団体ワークショップ6 有村 凜 (鹿児島・宮崎グループ)	登録団体ワークショップ7 守谷京子 (IPGグループ)
	登録団体ワークショップ5 中西徹、中菌裕子 (福岡グループ)	ビジネス・産業部会(事例発表) 藤原勝、山崎裕司、鈴木健二	登録団体ワークショップ8 平田あや子、平松みどり (大阪 みどり会グループ)
19日 (月)	10:00~16:00 アンセル・ウォルト 1日ワークショップ		
	10:00~16:00 ゴードン・ウィラー 1日ワークショップ		
	10:00~16:00 シンシア・レイノルズ 1日ワークショップ		
	午前 9:30~12:00	午後 13:30~16:00	
	分科会(関連分野5) 再決断療法 倉成 央	教育部会(事例発表) 定行俊彰、有村凜	
	分科会(ゲシュタルト5) 大野美都子・倉木成伊知ワークショップ	心理臨床部会(事例発表) 岡本茂樹	
	分科会(ゲシュタルト6) 岡田法悦ワークショップ	分科会(ゲシュタルト7) 前田茂則ワークショップ	
登録団体ワークショップ9 鈴木健二、渋谷祥代(世田谷グループ)			
■ 16:00~16:30 閉会式			